

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

No. 8 令和7年12月1日発行

田辺中だより

京田辺市立田辺中学校

さらなる高みを目指して ～自主・自立・創造～

京田辺市興戸北鉾立 21 番地 TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

ホームページ URL【<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/tanabe-jh/>】



「自分らしさ」

人権教育主任 東 大地

12月10日は、世界人権デーとして、様々な地域で人権について考える時間が設けられています。近年、ダイバーシティ(多様性)やインクルージョン(包摂)というキーワードをもとに社会の意識がより多様化しそれを認めていくことが進められています。学校教育においても、一人ひとり違う子どもたちがそれぞれの良さを生かし、「自分らしさ」を発揮できる場となるような教育活動を展開していきたいと考えています。そのうえで今回は「自分らしさ(アイデンティティ)」に関してお話しできればと思います。

「アイデンティティ」を具体的に言い換えると、自己認識・自己同一性:自分を自分だと認識し、他者と区別できる感覚個性・独自性:他の人とは違う、その人の変わらない性質、存在証明:自分が確かに存在しているという根拠や、他者から「あなた」として認められること、帰属意識:自分が所属している集団(国、文化、組織など)への意識と様々な考え方があります。「自分らしさ」と一言で表すことはさらに難しくそうですね。

また、その「自分らしさ」にどれだけ自信が持てるか。中学生の子どもたちにとって少し難しいことなのかもしれません。自己アピールをする際、自分自身の「長所と短所」どちらが先に思いつきますか? 高校受験を控えた中学3年生に同じ質問をした時、短所が先に思いつく生徒が多いように感じます。

ただ、「自分らしさ」を表現するうえで社会には矛盾することがあるのも確かで、①自分らしさを隠すことでの悪影響と②自分らしさを出すと社会で失敗する確率が上がるという社会的な調査がそれぞれあります。

①は、表面的な感情労働(接客業などで笑顔で対応し続けるような労働)を長く続けると心理的ストレスや身体的な問題が起こりやすくなるというもの。②については、現代社会において企業が求める必須スキル対人スキル(コミュニケーションスキル)があり、いかに社会という共同体の中で高いパフォーマンスを発揮できるかが求められる傾向があります。「自分らしくあれ」「他人の目は気にするな」という一見ポジティブに聞こえるアドバイスも考える余地がありそうです。

では、そういった世の中で①と②の考えを共存させるにはどうすればいいのか。「自分らしさを自認し、大事な価値観に基づいて行動する。」ことが大切であると考えます。例えば、会社や学校の会議・討議で意見の合わない人がいた場合、大事な価値観に「プロジェクト・学級活動(班活動)の成功」を設定すれば、自分の意見を通す素の自分を出さず集団の利益のためにチームワークを優先し素の自分を押し殺したとしても、自分の信念の一部・価値観は守られるはずで、心から大切にしているものさえ曲げなければ、本心を偽る行動でも、むしろ「自分らしさ」を守ることにつながるということです。

また、「自分らしさ」は他者との比較から生まれるものでもあり、その過程で「マジョリティ(多数派)とマイノリティ(少数派)」が生じることも、「自分らしさ」を発揮することを妨げてしまう要因となってしまう。障がい者や病人・高齢者や子ども・LGBTQ、外国人または外国にルーツを持つ方・宗教的少数者・被差別部落問題、少数民族など、マイノリティのために生きづらさを抱えている人が多くいることも確かです。そのような人たちを含めすべての人が「自分らしさ」を発揮できる社会にするために、私たち一人ひとりに何ができるのでしょうか?

『わたしと小鳥と鈴と』 金子みすゞ

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、
地べたを速くは走れない
私がからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

この詩をご存じの方は多いかと思います。この詩では、一人ひとりの違いを良さとしてとらえ、「自分らしさ」を前向きに捉えるだけでなく、「できない・知らない」他者のことを理解し、人の違いを「知り・認める」ということを大切にしているように感じます。難しく考えずとも、純粋に「みんなちがって、みんないい」を心に留めるだけでも価値のある詩ですね。

この詩のように、世の中にある様々な違いを「正しく知り・理解し・認める」ことが、一人ひとりが自信をもって「自分らしさ」を発揮できる社会につながるのではないかと考えます。それは、今の子どもたちに与えられた使命ではなく、私たち大人も同じ目線で考えなければならないことです。

本校では世界人権デーに際した、人権学習の中で様々な人権問題に触れています。これも、様々な人がいることを知り、社会の解像度を上げる手立てになります。世の中に起こる様々な人権問題を、「他人事」ではなく少しでも「なんとかできる問題」になれると素敵ですね。

子どもたちの優しさや人権感覚の豊かさは学校生活のあらゆる場面で、垣間見ることができます。その一つとして、子どもたちが作成した人権メッセージの一部を掲載させていただきます。また、生徒一人ひとりの作品は、12月上旬から教室前に掲示させていただく予定です。三者面談等でご来校の際に見てもらえたらと思います。

【人権メッセージ】

- ・行動する前に立ち止まろう！相手の基準は違うかもしれないよ (1年 高田 小茉智さん)
- ・SNS 一歩間違えるとSOS (2年 星野 桃佳さん)
- ・私は私 他の誰でもない 私を楽しむ (3年 田島 稜大さん)

今後の予定

12月 1日 (月)	一斉委員会
12月 3日 (水)	校内授業研究会 (4校時で帰るクラスあり) ※4校時で帰るクラスも給食を食べて下校 (10日も同様)
12月 10日 (水)	3日の5時間目に授業があったクラスは4校時で下校
12月 11日 (木) ~ 18日 (木)	三者面談 3年生は17日 (水) まで
12月 22日 (月)	月末振り返り 給食最終日
12月 23日 (火)	大掃除 終業式 (16時下校) ※部活動のある生徒は昼食必要
12月 28日 (日) ~ 1月 4日 (日)	学校閉鎖期間
1月 7日 (水)	始業式 (12時 35分下校) 身体測定 部活動なし
1月 8日 (木)	給食開始日

ネットトラブル対策講座



11月 25日 (火)より全クラスを対象に、インターネット使用上の危険性や情報モラルについての正しい知識を習得する目的で、1年生【SNSトラブル】、2年生【自画録り被害】、3年生【闇バイト】を内容を中心に、京都府警ネット安心アドバイザーを講師に招いて、ネットトラブルを実際に体験しながら学びを深めていくという取組を順次進めています。ご家庭でも是非この機会に、スマホの使用の仕方など、話をしていただければと思います。よろしくお願いします。

不審者対応避難訓練

11月19日(水)期末テスト終了後に、今年度2回目の訓練で、今回は田辺警察署生活安全課の署員やスクールサポーターに来ていただき、不審者が校内に侵入したという想定で、生徒たちや教職員の動きを見ていただきました。

生徒たちは教員の指示に従い、迅速かつ冷静に避難行動をとることができました。訓練後には、警察の方から防犯に関する講話をいただき、日頃からの安全意識の大切さについて学びまし



た。今は熊の出没も話題となっています。万が一に備えるということについては常に考えておく必要があります。



2年生起業家体験！（キャリア教育）

2年生では、11月27日(木)に「起業家体験」のクラス発表(2校時・各クラス教室)、学年発表会(3、4校時・体育館)が行われました。

田辺中学校のキャリア教育では、令和5年度から生徒数の増加に伴い、「職場での体験」ではなく、企業と連携して、将来の夢や進路を考えるきっかけにもなるように、起業家体験の形に変更しています。このキャリア教育で身につけたい力は「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」です。企業からのミッション(課題)を、班で協力して解決していく中で、自分のできること、得意なことを生かし、他者と関わりながら、課題解決をしていく学習になっています。規模の大きい田辺中学校だからこそできるキャリア教育の形を進めています。



さて、今回のミッションは、地元にある工場のある椿本チエイン様から「目指せ認知度 100% 椿本チエインを京田辺の小中学校みんなに知ってもらいたい」という課題で、①伝えたい相手(ターゲット)は明確か②コストパフォーマンスは適切か③継続性④独創性(中学生ならではの視点)という観点で各クラス各班で、その課題に挑み、クラス発表をし、選ばれたクラス代表の班が最終の学年発表会に臨んでいくというものです。



さて、3校時に体育館で開催された学年発表会では、優秀賞に2年4組の「コラボお菓子」の取組が。最優秀賞には、2年1組の「絵本」と2年5組の「オリジナルカレンダー」が、ともに選ばれました。2年生8クラスいずれもユニークなアイデアあふれた発表となりました。

